

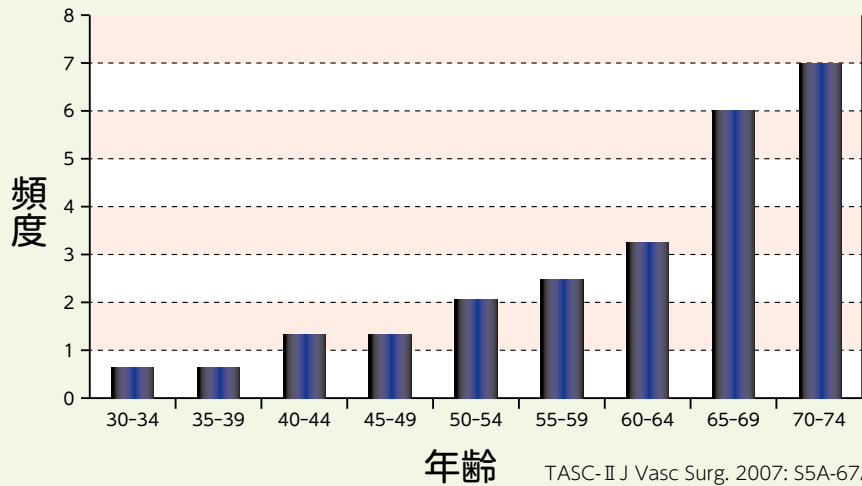
# 足のトラブルは

## 奈良医大放射線科に ご紹介ください

- 高齢化社会の到来、生活習慣の欧米化に伴い、下肢動脈の閉塞 (peripheral arterial disease: PAD) が急増しています。
- 早期に病気を発見し、治療することが生活の質(QOL)を改善し、また心血管イベントの予防につながります。
- 間欠性跛行(歩行時の脚の痛み、張り)の原因として下肢動脈の閉塞 (PAD)が増えています。



# 足の血管のつまり (PAD) 年齢別頻度



※年齢と共に PAD の頻度は上昇します。

## よく似た症状をもつ病気

PAD と腰部脊柱管狭窄症は、症状が似ています。

### 血管性 (PAD)

歩くと痛くなる

4 ~ 5 分歩くと足にこわばりが出てくる



### 神経性 (腰部脊柱管狭窄症)

姿勢によって痛みが変化

歩く距離に関係なく、不規則に痛くなる



足の裏、  
おしりの痛みがある

**PAD が疑われたら、  
ABI 検査で異常を検出します**



**ABI 検査とは  
腕の血圧と足の血圧を比べる**

$$ABI = \frac{\text{足の血圧 (50)}}{\text{腕の血圧 (100)}} = 0.5$$

正常値：1.0 以上

異常値：0.9 未満

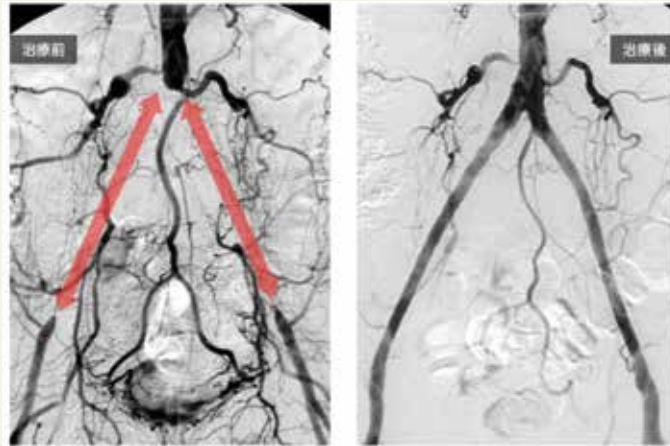


ABIが1.0以下で、跛行症状がある場合はPADの可能性がります。

透析患者さんや糖尿病患者さんでは、動脈の石灰化のため、ABIが高値にでることがあります。

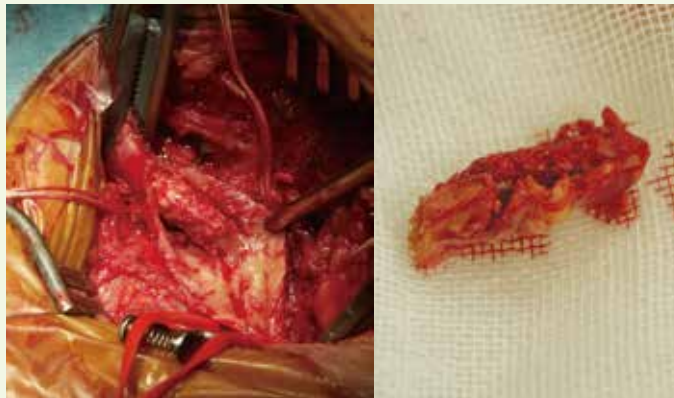
## 動脈閉塞 (PAD) のカテーテル治療前後

カテーテル治療を行うことで、患者さんの症状は劇的に改善します



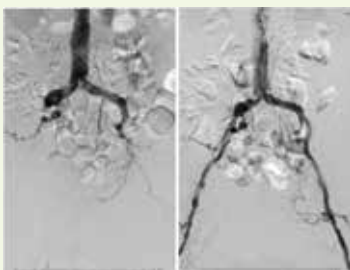
カテーテル治療前後の血管造影写真

## 動脈閉塞 (PAD) に対する外科治療

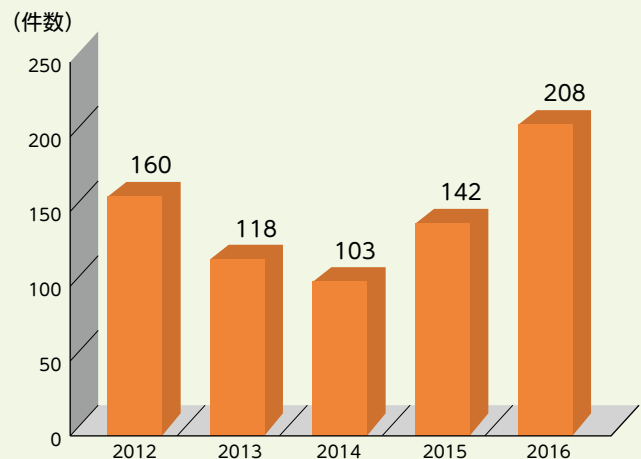


### PAD が進行すると 壊死になることがあります

カテーテル治療を行い、  
血流を改善することで壊死の治癒が  
得られます。



### 過去5年間の 末梢血管に対するカテーテル治療実績



# 奈良医大放射線科 大動脈・末梢血管チーム



## TEAM Doctor



吉川 公彦 教授  
KICHIKAWA kimihiko

日本 IVR 学会理事長・専門医  
日本脈管学会理事・専門医  
日本下肢救済・足病学会理事  
放射線科専門医



市橋 成夫 助教  
ICHIHASHI shigeo

放射線科専門医  
日本 IVR 学会専門医  
日本脈管学会専門医



岩越 真一 助教  
IWAKOSHI shinichi

放射線科専門医  
日本 IVR 学会専門医

奈良県立医科大学附属病院 放射線科・IVRセンターは足の血管の詰まりの  
カテーテル治療を日本で最初に行い、35年にわたる経験を有しています。  
腸骨動脈、大腿動脈閉塞への治療成功率はほぼ100%です。

足のトラブル、なんでもご相談、ご紹介ください。

奈良県立医科大学附属病院 放射線科・IVRセンター

〒634-8522 奈良県橿原市四条町840番地

TEL 0744-22-3051(代表) / 0744-29-8900(直通) / FAX 0744-24-1988

URL <http://www.nara-radiology.com/>